



今こそ「ONE TEAM」となり、JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守ろう

2021年 4月 8日

日本鉄道労働組合連合会

JR四国労組2021春闘交渉妥結

JR四国労組は4月7日、2021春季生活闘争の第5回団体交渉を行い、会社から3月23日の2021年度新賃金等の回答時には示されなかった、夏季手当・夏季一時金について回答を受けた。(2021年度新賃金等については妥結済)

その後、回答を持ち帰り業務対策委員会で協議した結果、2020年度の運輸収入が2017年度の約50%にまで落ち込むことが見込まれるなど、会社発足以来の極めて厳しい決算が予想される状況において、支給月数の前年度半減は回避できたことや、新型コロナウイルス感染症拡大の第4波の到来が危惧される中、キーワーカーとしての社会的使命を果たし続ける組合員のこれまでの労苦が最大限評価された結果として、一時金ではなく期末手当(支給月数)の回答が示されたこと、そして、これまで改善を求めてきたエキスパート社員の期末一時金に乗じる係数が今回限りの特例ではあるものの改善できたことなど、現下の危機的状況を踏まえれば、現時点における会社としての精一杯の回答と判断、同12時に妥結した。

夏季手当(社員)1.21ヵ月

夏季一時金(エキスパート社員)0.966ヵ月

※1.61ヵ月×係数(0.6) ◆0.4から改善

夏季一時金(契約社員)

| 調査期間内の勤務日数 | 四国地区 | 大阪地区 | 列車乗務員 | アテンダント |
|-------------|---------|----------|----------|----------|
| 65日以上120日未満 | 46,000円 | 59,000円 | 52,000円 | 52,000円 |
| 120日以上 | 92,000円 | 118,000円 | 104,000円 | 104,000円 |